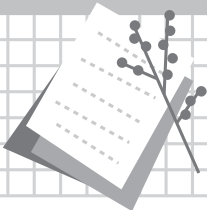


GUIDE 4

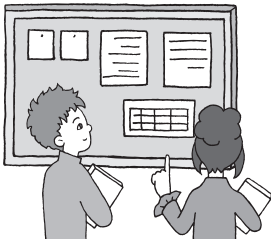
学修の手引き



01 教育課程の学位授与方針と学修到達目標との関係

教育課程の学位授与方針	学 修 到 達 目 標																							
	汎用的能力												専門的能力											
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力		
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)
地(食健康生)	②	②	2③	1③	1③	1③	1②	1③	1③	1②	1②	1②	1②	1③	2③	1②	③	1③	1②	1③	2③	1②	1③	2③
地(介護福祉生)	②	②	2③	1③	1③	1③	1②	1③	1③	1②	1②	1②	1②	2③	2③	1②	2③	③	1②	2③	2③	1②	2③	2③
地(多文化生)	②	②	2③	1③	1③	1③	1②	1③	1③	1②	1②	1②	1②	2③	2③	1②	2③	2③	1②	2③	2③	1②	1③	1③
幼保	③	③	③	1②	1②	1②	1②	1②	1②	④	④	④	2③④	1②	④	1②	1②	1②	1②	1②	1②	③	2③	2③④

☆この表は、学位授与の方針(ディプロマポリシー)と学位到達目標の関係を示しています。  
各番号の内容は、食健康コース(P7)、介護福祉コース(P8)、多文化コース(P9)、幼児保育学科(P10)のディプロマポリシーを参照してください。

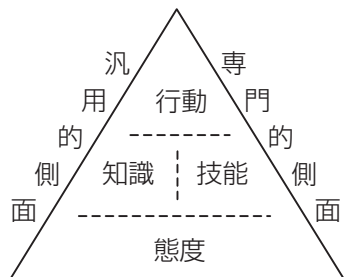


- 01
- 02
- 03
- 04
- 05

履修について

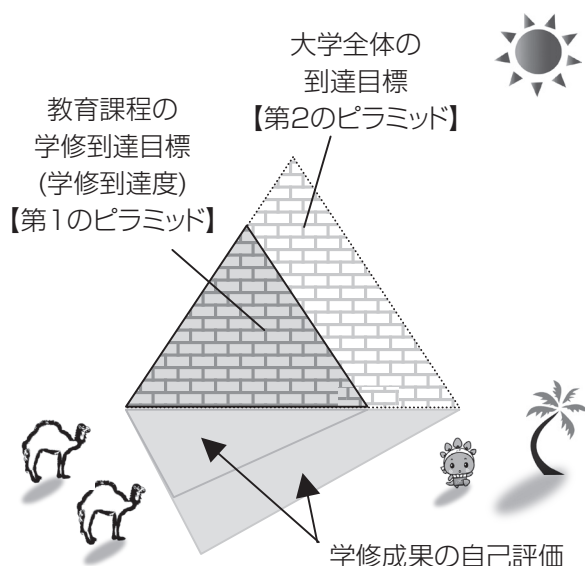
## 02 学修成果の獲得に向けて

卒業までの修学期間中、学生の皆さんは、学位授与方針を満たすために必要な学修成果の獲得に向け修学に励むことになります。学修成果は、社会人になるために必要な実質的な能力としてコンピテンシー・ピラミッドで表現されます。コンピテンシーは、社会で活躍する人が特徴的に持つ行動や考え方を示す能力評価の総体を意味するもので、ピラミッド形で表わされます。



この能力の総体は、大きく【態度】【知識】【技能】【行動】の要素に大別されますが、能力要素それぞれが独立して力を発揮するものではありません。例えば、ある行動に態度が伴っていないと信用を得ることは難しいでしょうし、知識や技能が伴っていないと軽薄なものとなるでしょう。また、知識や技能を身に付けたとしても、行動や態度が伴っていないと、総じて能力は低いと評価されるでしょう。あるいは態度だけ示せても、それ以外の能力が示されなければ評価は低いと言えるでしょう。

所属する教育課程の正課教育および課外活動のなかで、皆さんはこのピラミッドを自ら創るために必要な材料や方法を学んでいると言えます。学修到達目標は、コンピテンシー・ピラミッドの目標となっており、大学/短大の学科共通の汎用的能力要素、学科固有の専門的能力要素で構成されます。各学期の履修科目の成績評価から、学修到達目標に対する学修到達度を確認することができます。学修成果の獲得では、「何を学んだか」ではなく、「学んだ結果、何ができるようになったか」が重視されます。そこで、学修到達目標において、何がどの程度できるようになったかを自己評価する(学修成果の自己評価)ことで、学修到達度の実態を明確にしなければなりません。学修成果



の自己評価は、獲得したピラミッドの実態を明らかにする影と言えます。影は適切な大きさである必要があります。

教育課程の学修到達目標に基づいた学修到達度と学修成果の自己評価は、第1のピラミッドと言えます。大学全体で定める到達目標は、修学期間全体を通して獲得する能力の総体であり、第1のピラミッドを含む第2のピラミッドと言えます。

第2のピラミッドは、修学期間の個人の諸活動による能力の獲得も含まれるため、教育課程から得る学修到達度のような実態は示されませんので、学修成果の自己評価をすることで、学修成果の獲得を明らかにするものです。

## 03 学修の流れ《履修登録から学修の振り返りまで》

毎学期に、次の順で学修を繰り返し進めていきます。

① 履修登録 → ② 受講 → ③ 授業評価 → ④ 成績評価 → ⑤ 成績発表 → ⑥ (追再試験) → ⑦ 学修の振り返り

### 1 履修登録

履修登録により科目の受講意思を表明します。学期の授業開始前のガイダンスにおいて、登録用時間割表が配布されます。基本的には学年別に配当されている科目から履修する科目を選択します。

履修科目のシラバス(授業計画)は必ず確認し、必要に応じて印刷物やデータを保管してください。履修登録の方法は、「学生ポータルサイトの利用について」に記載しています。

シラバスのサイト:<http://er.nisikyu-u.ac.jp/abu0300>

※本学ホームページから確認できます。

## 2 受講

「受講の基本事項」に記載しています。

## 3 学生による授業評価

授業期間中盤に記述式の授業評価の調査が任意で実施されます。終盤には「お知らせ」がありますので、履修する全ての科目について授業評価を行ってください。授業評価は、授業の改善や学生指導の情報として利用されますので必ず行ってください。成績評価には一切関係しません。授業評価の方法は、「学生ポータルサイトの利用について」に記載しています。

## 4 成績評価

「成績評価について」に記載しています。

## 5 成績発表

学期末に個人成績一覧表が発表(個人配布)されます。成績評価は、S(90点以上)A(80点以上)B(70点以上80点未満)C(70点未満60点以上)不可(60点未満)失格(受講回数が満たない場合)で示されます。成績発表以降、学修到達度を学生ポータルサイトから各自で確認できます。学修到達度は、個人成績から算出された学期総合の達成率が能力要素別に集計されたものです。

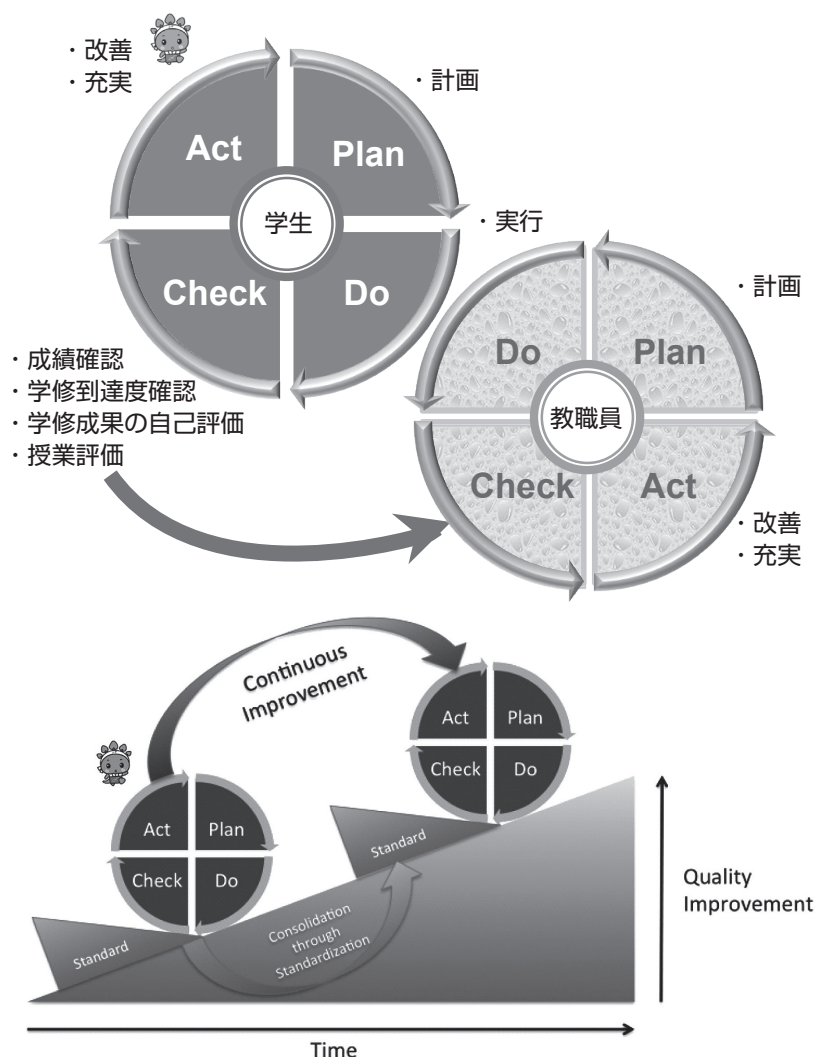
## 6 追再試験

追試験は、病欠その他の正当な理由があって試験当日に欠席した場合に実施されるものです。再試験は、成績不可(60点未満)の対象者に実施されます。受講回数が2/3に満たない場合は失格となり、追再試験の対象外です。追再試験の対象者は教務課で手続きを行うことで試験に臨めます。大学は科目によって再試験がない場合があります。短大は再試験が実施されます。※実習・実習指導・実験や演習科目等、最終試験などによって評価できない科目は、基本的に追再試験はありません。

## 7 学修の振り返り

各自の成績評価に基づいた学期毎の学修到達度を確認することができます。これと併せて学修成果の自己評価を行います。成績及び学修到達度の確認と、授業評価と学修成果の自己評価を行うなかで、各自の学修を振り返り、学期サイクルでPDCA(Plan・Do・Check・Act)を行ってください。

最終学期末の、学修成果の自己評価は、その査定結果と併せて、学修成果証明書(学位を補足する資料)に記載されます。また、成績ほか、学修到達度、学修成果の自己評価や授業評価は、個別指導や支援、授業やカリキュラム改善などの資料として活用されます。授業評価と学修成果の自己評価は、個人の成績に影響するものではありません。授業評価と学修成果の自己評価の方法は、「学生ポータルサイトの利用について」に記載しています。学修活動の一環として必ず行って下さい。



## 04 学生ポータルサイトの利用について

学生ポータルサイトは、各自の修学を管理・支援するツールとして活用されるもので、入学から卒業するまでの修学期間を通じて使用します。学外パソコンからでもアクセスが可能です。事前にID・パスワード(PW)が配布されます。学内パソコンを使用する際は、別途学内パソコンにアクセスするID・PWが必要です(事前に配布されます)。いずれのID・PW情報は、卒業まで使用しますので、記録し失くさないように大切に管理してください。学生ポータルサイトのホーム画面・ログイン画面(図1)を参考にしてください。

学生自らが修学の状況を振り返るためのツール、ポートフォリオの活用により、修学・生活の自己管理と分析、自己評価の文章化による自己表現、目標と行動の設定(PDCAサイクルの定着)、教科担当との双方向のコミュニケーションなどが可能となり、迅速な学習支援を提供しています。主な機能は次のとおりです。本誌では、学修を進めていくために不可欠な事項5～9について説明します。

### 1 ホーム画面のお知らせ(図1-1、図1-2) P88参照

休講・補講や教室変更、その他の連絡事項が掲載されますので、各自で事前に確認してください。また、学内の掲示板にもお知らせしますので、登校時には確認が必要です。

### 2 ポートフォリオ概要(授業でも活用されます。)

【修学支援ポートフォリオ】 修学ポートフォリオには、修学日誌・学期毎の記録があります。修学日誌は、週報日誌となっており、1週間毎に自己管理を行うものです。学期毎の記録では、各学期に目標設定・活動成果・今後の課題等を記録して振り返り自己管理を行うものです。

【キャリアポートフォリオ】 自分史(学期毎の記録を含む)・就職準備等の記録をして自ら就職活動の準備をするために使用するものです。

【学修ポートフォリオ】 課題レポートの提出や、レポートを介した教科担当との個別指導等に使用するものです。

### 3 ボランティア活動概要(授業でも活用されます。)

ボランティア募集一覧から参加希望の申込みをします。

### 4 求人情報・説明会情報

就職説明会や求人情報を閲覧することができます。

### 5 シラバス情報(図2-1、図2-2) P89参照

本年に開講される科目のシラバスが掲載されます。シラバス情報の確認(図2-1、図2-2)を参考にしてください。

### 6 履修科目、希望する資格免許の履修登録及び時間割の印刷 (図3-1、図3-2、図3-3) P91参照

学期はじめに(ガイダンス等において)履修する科目について、各自で登録申請します。履修登録用の時間割表が配付されます。登録用時間割表は、各教育課程表に記される科目の学年配当に基づいて作成されています。卒業要件や資格要件をしっかりと確認し、履修登録を行ってください。登録期間中は上書き変更が可能です。最後に保存した科目が登録されます。

履修登録の画面操作(図3-1、図3-2、図3-3)を参考にしてください。

### 7 成績の閲覧(図4) P93参照

個人成績一覧を随時閲覧することができます。各学期の成績発表日に当該学期の成績が更新されます。

### 8 授業評価の登録(図5) P94参照

履修する全ての科目について、授業を評価してもらいます。この調査では、各自の受講について振り返るほか、授業や指導を改善するための情報として活用されます。成績評価には関係しませんので、受講者の義務と心得て必ず回答してください。授業評価は、およそ14回または15回目の授業最後に実施されます。実施の際にはポータルサイトにお知らせがあります。

授業評価の登録画面操作(図5)を参考にしてください。

**9 学修到達度の確認(図6) P95参照**

各学期で履修した科目の成績評価に基づいて能力要素別の学修到達度が集計表示されます。  
学修到達度の確認(図6)を参考にしてください。

**10 学修成果の自己評価の登録(図7) P96参照**

各学期末に、自分の能力要素がどの程度達成しているかを自己評価します。学修成果の自己評価方法(図7)を参考にしてください。

**11 学位の補足資料(ディプロマ・サブリメント)について**

学修成果を卒業時に提示するため、学位証明書補足資料(ディプロマ・サブリメント)を発行します。

**12 アンケート調査**

学修実態調査、就職活動関係調査、学生生活実態調査、授業での調査など、各種調査が適宜実施されます。調査のお知らせの際に回答してください。

※学生ポータルサイトでの入力(登録)作業について

登録は、それぞれ期間が設定されます。期間外には登録できません。登録期間を確認し、期日を守るよう注意してください。

入力作業中は、何もしていないと、30分でタイムアウトとなり、途中の入力情報は保存されません。入力作業時は、こまめに登録ボタン(または、下書きボタン)を押して保存するようにしてください。(授業評価シートの登録については、回答途中で保存ができません。)

※スマートフォン等での操作も可能ですが、動作保証はしておりません。データが記録されない場合もありますので必ずwindows PCにて操作を行ってください。

01

02

履修について

03

04

05



## (図1-1)

## ログイン画面

https://asunaro.nisikyuu-u.ac.jp/portal/ (大学ホームページからアクセスします。)

※ 各自のユーザー ID、パスワード、生年月日を入力し、ログインします。

※ パスワードを忘れた場合は、「パスワードを忘れた方は」を選択し、指示に従ってください。

## (図1-2)

## ホーム画面

	月	火	水	木	金
1			英語ゼミナールⅡ 【教員 太郎】		
2	こころから学びたい 【教員 太郎】	英語ゼミナールⅠ 【教員 太郎】			
3			介護総合演習Ⅰ 【教員 太郎】 講義	介護総合演習Ⅰ 【教員 太郎】 新卒実習	
4			介護福祉ワークの理論と方法Ⅱ 【教員 太郎】		
5				環境教育講 【教員 太郎】 新卒実習	
6					

(図 2－1)  
シラバス情報の確認

本学ホームページあるいは学生ポータルサイトからシラバス検索画面に入ります。シラバスは本年度に開講される科目の学科別一覧が表示されます。

画面は2017年度開講例です。

西九州大学 教育・研究リソース 検索システム

トップページ » 授業科目(シラバス) » 開講年度 » 学科・専攻・コース » シラバス一覧

20●●年度開講  
子ども 子ども学科  
シラバス一覧

1年生 開講 / 2年生 開講 / 3年生 開講 / 4年生 開講

1年生 開講  
共通教育科目 共通基礎科目

授業科目	専攻・コース	単位数	履修区分	開講期	担当教員	シラバス
基礎演習あすなろう		1	必修	通年		シラバス

共通教育科目 教養教育科目

授業科目	専攻・コース	単位数	履修区分	開講期	担当教員	シラバス
あすなろう体験Ⅰ（基礎）		1	必修	通年		シラバス
心理学入門		2	選択必修	後期		シラバス
現代社会と倫理		2	選択必修	前期		シラバス
人間論と現代思想		2	選択必修	後期		シラバス
文学と言語		4	選択必修	前期		シラバス

(図 2－2)  
シラバス画面

西九州大学 教育・研究リソース 検索システム

トップページ » 授業科目(シラバス) » 開講年度 » 学科・専攻・コース » シラバス一覧 » 授業科目(シラバス)

子ども学総論

科目名	子ども学総論
ナンバリング	PC_A1_01
担当者	
開設学科 専攻・コース	子ども学科 心理カウンセリング学科
分類	専門教育科目 学部基幹科目
関連する 資格・免許	

開講キャンパス

開講年次

開設期

単位数

必修・選択

佐賀	1年	前期	2単位	必修
----	----	----	-----	----

※科目ナンバリングは、科目系統図と合わせて科目の位置づけが確認できます。詳細は「学生便覧」(大学)「キャンパスライフハンドブック」(短大)ほか、ガイダンス等で説明があります。

授業の概要 及びねらい	現代の子どもの問題に向き合い、子どもの心と体の成長や発達を支援するには、教育学や保育学の領域にとらわれず、学際的視点から子どもにアプローチしていく必要がある。本講義はオムニバス方式で、子どもを生物学的・社会的存在としてとらえ、環境、人類学、子育ての歴史、社会と文化、身体、生活支援等の観点から解説する。
授業の 到達目標	①子どもをとりまく環境について科学的側面から理解し、考えることができる。 ②人類学的視点から、人間の子どもの生物学及び文化的な特徴について説明できる。 ③子育ての営みを歴史的文脈の中で、客観的に理解することができる。 ④乳幼児死亡率の高かった過去の時代において、子どもがどう取り扱われてきたかに関心を持つ。 また、そのことについて説明することができる。 ⑤現代の学校や家族の制度につながる、子ども期の概念の歴史的生成を知る。 ⑥身体から見た子どもの特徴や育ち、また発達障害について理解する。 ⑦子どもの生活の中での権利と育ち、また子育て支援の現状と施策および課題について述べる ことができる。
学習方法	オムニバス形式での講義、プリント配布、ビデオ等視聴、担当教員ごとに課題提出を求める
テキスト及び参考 書籍	テキスト：西九州大学子ども学研究会編「子ども学のすすめ」佐賀新聞社 参考書：波平恵美子「生きる力をさがす旅―子ども世界の文化人類学」出窓社 他

【心理カウンセリング学科】

※能力要素別に該当する学修比率が記されています。

到達目標

	汎用的能力要素												専門的能力要素												合計
	態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			態度・志向性			知識・理解			技能・表現			行動・経験・創造的思考力			
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	
	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	1)	2)	3)	
比率														20		10		30		10		20	10		100
評価基準・方法																								評価割合 %	
定期試験																									
小テスト等														○		●		○			○			○	
宿題・授業外レポート														○		●		○			○			○	
授業態度														○											
受講者の発表																									
授業の参加度														○											
その他														○			○			○				○	100
	各論ごとに小テストや課題レポート等で評価される。																								
合計																									100

(表中の記号 ○評価する観点 ●評価の際に重視する観点 %評価割合)

※該当する評価方法が記されています。

授業計画（学習内容・キーワードのスケジュール）			※事前に確認し、必要な予習・復習をします。																	
第1週	事前学習(予習)	シラバスを読んでおく。																		
	授業	授業計画の説明、子どもと環境① 子どもと自然・生活環境【田中・平田】																		
	事後学習(復習)	子どもを取り巻く環境についてまとめる。次週のプリント配布																		
第2週	事前学習(予習)	「生体としての子ども」について、配布プリントより内容を確認する。																		
	授業	子どもと環境② 生体としての子ども 子どもと環境①②まとめの小テスト【平田】																		
	事後学習(復習)	子どもと環境①②について、まとめテストより振り返る。																		
第3週	事前学習(予習)	「自然環境の変容と子どもの自然体験」について、配布プリントより内容を確認する。																		
	授業	子どもと環境③ 自然環境の変容と子どもの自然体験【飯盛】																		
	事後学習(復習)	子どもの権利と子どもの育ちについて、まとめる。																		
第4週	事前学習(予習)	「家族・地域社会の現状、子育てに関する施策」について、配布プリントより内容を確認する。																		
	授業	子どもの生活経験と子育て支援② 家族・地域社会の現状、子育てに関する施策【田中】																		
	事後学習(復習)	子どもの生活経験と子育て支援について、レポートを作成する。																		
備考			※受講に必要な事項等が記載されています。																	



(図3-1)

## 履修登録の画面操作

【はじめに】 学生ポータルサイトでの履修登録作業の前に時間割をもとに、あらかじめ下書きの時間割表を作成しておきます。下書きした時間割表を見ながら登録操作を行ってください。

学生 ポータルサイト

西九州大学  
西九州大学短期大学部

ようこそ 佐賀 太郎さん [ログアウト]

履修登録期間 令和 5年 4月 6日 09:00 から 令和 5年 4月13日 16:00まで

※印刷は 紙質が良く印刷できるものになります。

① 履修登録

② 履修登録

③ 各曜日、集中講義ごとに開いて科目を選択していきます。

【「月曜日」を開いた例】

履修した科目に☑を入れ選択します。  
各曜日、集中講義を開き、履修したい科目を選択します。

確認  
登録した科目単位と科目数が表示されます。

画面情報はダミーです。

1 原目

☒ ウェルネス・スポーツ① 履修番号 20214 担当教員 教員 花子  
授業方法等 選必 1 単位 【後期】 月 1

☐ ウェルネス・スポーツ② 履修番号 20215 担当教員 教員 花子  
授業方法等 選必 1 単位 【後期】 月 1

2 原目

☒ 実習学概論 履修番号 20216 担当教員 教員 三郎  
授業方法等 選必 2 単位 【後期】 月 2

3 原目

☐ 教育基礎論 履修番号 20217 担当教員 教員 次郎  
授業方法等 選必 2 単位 【後期】 月 3

4 原目

☐ データサイエンス演習 履修番号 20221 担当教員 教員 花子  
授業方法等 必修 1 単位 【後期】 月 4

5 原目

☒ 植物保健福祉の原理Ⅰ 履修番号 20222 担当教員 教員 太郎  
授業方法等 選必 2 単位 【後期】 月 5

6 原目

7 原目

※科目名をクリックすると、シラバスを閲覧することができます。

※履修登録期間中の変更は可能です。

※「ホーム」画面上の個人時間割表は、履修登録後に更新されます。

履修科目	単位	月	火	水	木	金	土	日
共通教育科目	8	0	0	0	0	0	0	0
専門教育科目	14	0	1	0	0	0	0	0
履修科目	0	0	0	0	0	0	0	0
化学基礎	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	22	0	1	0	0	0	0	0

時間割表印刷

**学生 ポータルサイト**

西九州大学  
西九州大学短期大学部

ようこそ 佐賀 太郎 さん [ログアウト]

---

- ホーム
- お知らせ
- SNS
- メニュー
- 出欠閲覧
- あすなろメール
- 検索情報**
- マイページ
- グループサインイン
- 設定
- ヘルプ
- フィードバック

× トップ ②

資格・免許希望

履歴登録

成績閲覧

授業評価アンケート

学修到達度マップ

学修到達度成果

**①**

免許・資格 希望	
<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉士国家試験受験資格	未取得
<input type="checkbox"/> 精神保健福祉士国家試験受験資格	未取得
<input checked="" type="checkbox"/> 介護福祉士国家試験受験資格	未取得
<input type="checkbox"/> 高等学校教諭一種免許状（福祉）	未取得
<input type="checkbox"/> レクリエーション・インストラクター	未取得
<input type="checkbox"/> パラスポーツ指導員（初級スポーツ指導員）資格	未取得
<input type="checkbox"/> 児童福祉士	未取得
<input type="checkbox"/> 社会福祉士三事任用資格	未取得
<input type="checkbox"/> 身体障害者福祉司任用資格	未取得
<input type="checkbox"/> 知的障害者福祉司任用資格	未取得
<input type="checkbox"/> 児童福祉司任用資格	未取得
<input type="checkbox"/> 児童施設職員任用資格	未取得
<input type="checkbox"/> 児童福祉士	未取得

**③ 該当箇所に☑を入れる。**

戻る
リセット

**学生 ポータルサイト**

西九州大学  
西九州大学短期大学部

ようこそ佐賀 太郎 さん [ ログアウト ]

履歴登録期間 令和 5年 4月 6日 09:00 から 令和 5年 4月13日 16:00まで

\*印は、試験対象が選科科目になっているものです。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
基礎数学Ⅰ	基礎数学Ⅱ	基礎数学Ⅲ	基礎数学Ⅳ	基礎数学Ⅴ	基礎数学Ⅵ	基礎数学Ⅶ
基礎物理Ⅰ	基礎物理Ⅱ	基礎物理Ⅲ	基礎物理Ⅳ	基礎物理Ⅴ	基礎物理Ⅵ	基礎物理Ⅶ
基礎化学Ⅰ	基礎化学Ⅱ	基礎化学Ⅲ	基礎化学Ⅳ	基礎化学Ⅴ	基礎化学Ⅵ	基礎化学Ⅶ
基礎生物Ⅰ	基礎生物Ⅱ	基礎生物Ⅲ	基礎生物Ⅳ	基礎生物Ⅴ	基礎生物Ⅵ	基礎生物Ⅶ
基礎英語Ⅰ	基礎英語Ⅱ	基礎英語Ⅲ	基礎英語Ⅳ	基礎英語Ⅴ	基礎英語Ⅵ	基礎英語Ⅶ
基礎情報Ⅰ	基礎情報Ⅱ	基礎情報Ⅲ	基礎情報Ⅳ	基礎情報Ⅴ	基礎情報Ⅵ	基礎情報Ⅶ
基礎音楽Ⅰ	基礎音楽Ⅱ	基礎音楽Ⅲ	基礎音楽Ⅳ	基礎音楽Ⅴ	基礎音楽Ⅵ	基礎音楽Ⅶ
基礎美術Ⅰ	基礎美術Ⅱ	基礎美術Ⅲ	基礎美術Ⅳ	基礎美術Ⅴ	基礎美術Ⅵ	基礎美術Ⅶ
基礎体育Ⅰ	基礎体育Ⅱ	基礎体育Ⅲ	基礎体育Ⅳ	基礎体育Ⅴ	基礎体育Ⅵ	基礎体育Ⅶ
基礎外国語Ⅰ	基礎外国語Ⅱ	基礎外国語Ⅲ	基礎外国語Ⅳ	基礎外国語Ⅴ	基礎外国語Ⅵ	基礎外国語Ⅶ
基礎社会Ⅰ	基礎社会Ⅱ	基礎社会Ⅲ	基礎社会Ⅳ	基礎社会Ⅴ	基礎社会Ⅵ	基礎社会Ⅶ
基礎経済Ⅰ	基礎経済Ⅱ	基礎経済Ⅲ	基礎経済Ⅳ	基礎経済Ⅴ	基礎経済Ⅵ	基礎経済Ⅶ
基礎法律Ⅰ	基礎法律Ⅱ	基礎法律Ⅲ	基礎法律Ⅳ	基礎法律Ⅴ	基礎法律Ⅵ	基礎法律Ⅶ
基礎医学Ⅰ	基礎医学Ⅱ	基礎医学Ⅲ	基礎医学Ⅳ	基礎医学Ⅴ	基礎医学Ⅵ	基礎医学Ⅶ
基礎工学Ⅰ	基礎工学Ⅱ	基礎工学Ⅲ	基礎工学Ⅳ	基礎工学Ⅴ	基礎工学Ⅵ	基礎工学Ⅶ
基礎農学Ⅰ	基礎農学Ⅱ	基礎農学Ⅲ	基礎農学Ⅳ	基礎農学Ⅴ	基礎農学Ⅵ	基礎農学Ⅶ
基礎芸術Ⅰ	基礎芸術Ⅱ	基礎芸術Ⅲ	基礎芸術Ⅳ	基礎芸術Ⅴ	基礎芸術Ⅵ	基礎芸術Ⅶ
基礎総合Ⅰ	基礎総合Ⅱ	基礎総合Ⅲ	基礎総合Ⅳ	基礎総合Ⅴ	基礎総合Ⅵ	基礎総合Ⅶ
合計	22					

(印刷表示例)

時間表印刷

The screenshot shows the student portal interface. On the left is a vertical sidebar menu with icons for Home, Login, My Page, etc. The 'ログイン' (Login) icon at the bottom is circled with a red circle and labeled with a red number ①. The main area displays a login form titled '※ 図1-5'. The form contains instructions in Japanese about logging in with a security code sent via email. It has fields for 'メールアドレスを入力してください。' (Enter your email address.) and 'セキュリティコードを入力してください。' (Enter your security code.). There are '実行' (Execute) and 'OK' buttons. A dashed box around the security code field is labeled with a red number ⑤. An arrow points from the '実行' button to a separate box on the right containing the text: '学校指定のメールアドレスにセキュリティコードが送信されます。' (The security code will be sent to the school-specified email address.).



成績一覧が表示されます。

既に取得していたセキュリティコードは期限切れとなり、再取得しないと成績閲覧をすることができません。



(図5)

## 授業評価の登録画面操作

学生 ポータルサイト

西九州大学

③ 各科目について回答します。

授業評価アンケート一覧

履修番号	履修科目名	開講期	担当教員	提出開始日	提出終了日	回答する
20229	あすなろう (初年次教育会)	通年	教員 花子	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20238	人間性と現代思想	後期	教員 太郎	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20242	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	後期	教員 太郎	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20243	英語コミュニケーションⅡ	後期	教員 花子	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20247	社会福祉実習Ⅱ	後期	教員 花子	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20248	心療予入門	後期	教員 花子	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20249	ソーシャルワークの基礎と専門Ⅱ	後期	教員 花子	2024/01/10	2024/02/29	回答する
20250	認知症の理解Ⅱ	後期	教員 三郎	2024/01/10	2024/02/29	回答する

① 授業評価

② 授業評価アンケート

## 授業評価シート

学生 ポータルサイト

西九州大学  
西九州大学短期大学部

ようこそ 佐賀 太郎さん【ログアウト】

一頁 > 正篇

このアンケートは、授業の内容をより充実したものに改善するための大切な調査です。あなたの成績評価には、一切影響しませんので、率直に回答してください。

必ず全ての質問に回答してください。

【20229】あすなろう (初年次教育会) 通年 (教員 花子)

④ 各科目について回答します。

質問番号	質問	回答
(あなたの自身の授業参加態度について)		
Q1	授業は満足できているか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4
[Q1の評価基準: 4 → 満足、3 → 1回、2 → 2〜3回、1 → 4回以上]		
Q2	シラバス (授業計画) を活用しましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4
Q3	授業中に疑問・不明点を先生に質問しましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4
Q4	あなたはこの授業を理解するために自分で調べたりしましたか。 (例えば、ノートをとる、テキスト・参考書の活用、教員への質問、予習・復習等)	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
[Q2〜4の評価基準: 4 → そう思う、3 → 思いどおり思う、2 → あまりそう思わない、1 → そう思わない]		
Q5	あなたの自身の総合自己評価	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
[Q5の評価基準: 4 → 高い、3 → やや高い、2 → やや低い、1 → 低い]		
(授業内容・方法について)		
Q6	シラバス (授業計画) について活用ができましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
Q7	教員は授業の到達目標を明確にして、授業を展開していましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
Q8	授業は興味・関心が持てる工夫がされていましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
Q9	授業は分かりやすく工夫がされていましたか。	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
学生による授業改善のためのアンケート		
このアンケートは、授業内容をより充実したものに改善するための大切な資料です。あなたの成績評価には一切影響しません。		
この授業について気付いた事や要望等を自由に記入してください。		
400文字以内 (残り400文字)		
自由記入		
⑤ 登録すると完了です。		

授業評価シートの質問1〜18は共通です。該当番号のチェックと自由記入をしてください。

授業評価シートは、途中保存ができませんので、最後(質問18)までもれなく回答してください。

質問19〜25は、先生からの質問提示がある場合に回答してください。履修科目全てに回答してください。

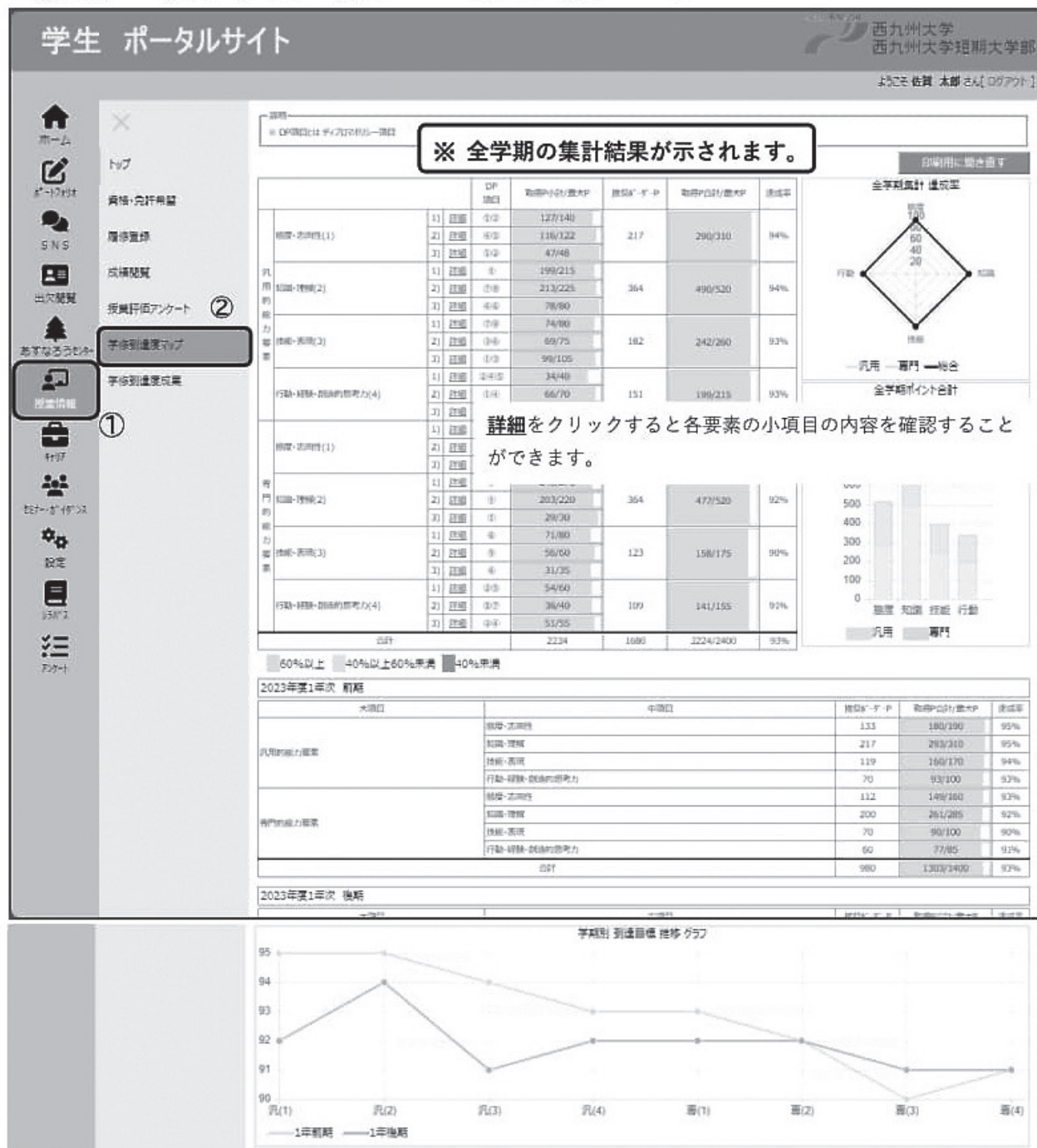
回答期間中であれば変更は可能です。



(図6)

## 学修到達度の確認

各学期末の成績発表時に個人成績に基づいて到達度が集計されます。



各学期の到達度が高い要素は自分の強みとして、低い要素は弱い点として、次学期の学修に向け強化、充足を図ってください。

(図7)

## 学修成果の自己評価方法

学期終了ごとに学修成果の自己評価を行い、修学を振り返り、次学期の学修充実を図っていきます。自己評価は、学修到達目標の評価指標をもとに自己評価を行います。学修成果の評価指標は、入学時にプリント配布するほか、大学ホームページ（情報公表）にも掲載しています。

(<https://www.nisikyu-u.ac.jp/nagahara/info/>)

↓ 学修到達画面の下

※ 自己評価には、汎用的能力要素（学科共通）、専門的能力要素（学科別）、そして大学全体の到達目標の3つがあります。

③ 全ての項目について回答します。

各項目に学修到達目標の評価指標が記されています。評価指標（学修成果の評価指標）は、Level 1～4の4段階の指標が文章で示されています。内容をよく読んで、内容全てに該当するLevelを選択します。Levelを飛び越えて評価はできません。Level 1が到達基準となります。卒業までに全ての項目がLevel 1以上になるよう、計画を立て学修成果の獲得に励んでください。Level 1に満たない場合は、〈Level 1未満〉を選択します。

自己評価は学修到達度(p95)と合わせ、自分の強みや足りない点を見つけ、次の学期に向けた学修計画を立てて行動してください。

⑤ 登録すると完了です。

登録 キャンセル

## 05 受講の基本事項

### 基本事項

1. 教育活動は、授業・セミナー・課外活動等がありますが、すべては、建学の精神、教育の理念をはじめ、教育課程の3つの方針と学修到達目標に基づいて、教育・指導が実施されます。
2. 課外活動は、正課教育に含まれる重要な教育活動に位置付けられます。
3. 教育活動では、教員が「何を教えたか」ではなく、自らが「何を学んだか」「どのような学修成果を獲得したか」を重視します。
4. 授業は、シラバス(授業計画)に沿って行われます。履修登録や受講の際に、次回の授業に備えて必ずシラバスの確認を行い、必要な予習・復習を行ってください。
5. 授業の日程は、休講や補講等の変更があることがあります。学内掲示版や学生ポータルサイトのお知らせを必ず確認してください。
6. 挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。率先して挨拶をしましょう。

### 授業

1. 授業は受講者全員が共有するものです。良好な授業環境を保つため、必要に応じて教員から厳しく注意されることもあります。以下の①～⑩の点には特に注意してください。(傷病や障がいなどの特別な対応(定期試験における別室受験や試験時間の延長、文字の拡大等)が必要な場合は、事前に担任やチューターなどの教員に直接相談するか、学生支援課または保健室にきちんと相談しておくようにしてください。)
  - ① 理由がない遅刻や早退をしない。
  - ② 座席が空いているのに、後部座席に固まらない。(受講態度が見て取れない。)
  - ③ あからさまに居眠りをしない。
  - ④ 私語をしない。
  - ⑤ 騒がない。
  - ⑥ 許可なく携帯電話などを使用しない。
  - ⑦ 飲食をしない。
  - ⑧ 帽子を被ったまま受講しない。
  - ⑨ 許可なく教室を出入りしない。
  - ⑩ その他、礼節に欠ける態度や発言、授業の妨げとなる行為や態度をとらないなど。

※個人の尊厳が傷つけられるような発言等によって、教職員やクラスメイト等周囲から心身を傷つけられ悩みを抱えるような場合は、学生相談室やハラスメント相談員に相談してください。また投書箱を利用することもできます。学校は個人の不利益にならないよう配慮し学修支援に尽力します。

## 06 成績評価について

全授業回数の2/3以上の受講がないと、成績評価の対象者となりません。正当な理由があって遅刻・早退・欠席する場合、教務課窓口で指示に従って手続きをしてください。

※短期大学部では、30分以上の遅刻や早退(途中退室含む)は欠席とみなされます。遅刻3回は1回欠席として取り扱われます。

各科目の成績評価の方法は、シラバスに記載されています。評価について、別途科目担当教員から留意事項等の説明があることもあります。成績評価は、該当する学修到達目標に対する学修(比率が示されています。)に対して、定期試験・小テスト・授業態度・発表・参加度・その他の基準を設け評価されます。

01

02

履修について

03

04

05

memo

